

むすびめ通信

エベン 4:16



湯本沙友里 ニュースレター



皆さまの暖かいお祈りと励まし、ご支援に心より感謝いたします。昨年のエチオピア訪問後、日本での仕事と今後の働きに向けた準備を続けてまいりました。今年は6月以降に約4か月間の渡航を予定しております。今後の計画と、帰国後数か月間の取組みをご報告いたします。

これからの計画

エチオピア訪問から見た「真の自立」への取組み

接客サービス業の従業員育成プロジェクト

昨年6月から11月にかけて、約3年ぶりに訪れたエチオピアは、道路やビルの建設が進み、驚く変化を遂げていました。以前のニュースレターにも書かせていただきましたが、首都のアジスアベバでは、富裕層が増える一方で、ストリートチルドレンや売春婦など依然として貧困問題を抱えています。エチオピアでは1984年に約100万人が餓死をした大飢饉を皮切りに、国内外の援助団体が緊急支援によって人々の命を救い、その後も社会問題に対する多様な活動を行い続けています。

しかし今は不毛に思える状況でなく、1億人に達そうとしている人口の80%は35歳以下の若者で、高学歴者も増え留学や起業をし、海外旅行を楽しむ人も増え、立ち上がる力をつけ始めています。それに関わらず一部の人の言動から「無意識の依存心」が見え隠れする度に、貧しいと言われ続け援助慣れしてしまった、支援活動の負の側面について考えずにはいられませんでした。



14世紀に築えたラリベラ帝国のキリスト教岩窟教会(世界遺産)

新しい世代が育ったこれからのエチオピアでできる貢献は、仕事において、収入だけでなく主体性と創造性を発揮して他者を思いやり、社会を良くするために働き、自らも向上し続け、時に勇気をもって新たな挑戦をしていく、そのような「真に自立した次世代」の育成に仕えていくことだと思われています。方法の一つとして、人材育成が行き届いていないエチオピアのサービス業、主に飲食店の従業員をトレーニングする事業を、現地の会社と共同で行うことで事業拡大を目指し、将来的には貧しい人々も働ける職場へと成長させていくことを目指すことを計画しています。今後の取組みを覚えてお祈りいただけますと幸いです。

事業家たちとの新たな繋がり

エチオピア滞在の後半にはこれまで関りを持っていたNGOの分野から動きを変えて、現地の事業家たちと繋がる機会が与えられ、多くを学びました。特に私はどんな仕事においても(生活の全ての領域で)、聖書の価値観に基づく生き方を追い求め、隣人愛を実践しようとする人々との関係づくりを深めたいと願っていたため、ビジネスの分野においてもそれを実践されている方々との出会いに導かれていた事は、主の恵みであり皆様のお祈りの支えによるものだと感じ感謝しております。

滞在中にお世話になり、今後の働きをしていく上でも協働の可能性のある人々や事業をご紹介しますと思います。

1. レマ (Lemma) 氏

AYSOL Management consultancy 代表



中央がレマ氏。事務所にて。
右は昨年名古屋大学・大学院を卒業した友人。アジスアベバで再会。

「声なき者の友」の輪(FVI)の長年のパートナーである、ハーベスト・エチオピアの代表デメラシュ氏と長年の友人であるレマ氏は、2つの事業を運営しています。一つはグローバル・リーダーシップ・トレーニングを提供するキリスト教系の国際NGOエチオピア支部運営をし、政府の管轄にある銀行の管理職、NGOや国連関連機関の職員、教会などで人材育成に取り組んでいます。もう一つは、民間企業のコンサルティング(企業が抱える問題の解決を示し発展を助ける業務)を行う会社経営です。レマ氏の考えは、人々の内面の成長こそが持続可能な発展をもたらしていくということです。表面的で急速な経済発展が進むエチオピアにおいて、時間を要する「人格の成長」はビジネス社会で蔑ろにされてしまいがちです。エチオピアの人々に備えられている可能性が発揮され他者の為に働ける人々を育成することに使命を抱き、事業を通してリーダー達に仕えている事業の在り方に深く共感し、私が構想している接客サービス業の人材育成の働きを、彼の会社と協働していく計画を進めています。

2. Tesfa football academy

テスファ・フットボール・アカデミー

スポーツ教育を通して、子どもたちの健全な心身と人間性の育成に仕えていくことを目的に立ち上げられたサッカー教育事業です。持続可能にするため支援ではなく会社という形をとり、現在はエチオピア人と韓国人が共同経営をしています。エチオピアでは国内外の組織による様々な種類の「トレーニング」が溢れていますが、その殆どが屋内での受講型で、経験や実践に結び付けられていない現状があります。試験に有効な教科学習が優先になっている学校教育でも未だカバーしきれていない分野です。スポーツを通して得られる「心身の健全な育成と能力の向上、社交性、協調性、全体（他のメンバー）の動きを読みチームワークを発揮する事、自己責任を果たすこと、失敗や成功体験、リーダーシップの取り方」など人間性の成長に着目し、未来のエチオピアを担う人材育成に取り組んでいます。



運営メンバーとボランティアスタッフ(数か国からのコーチが所属)エチオピア人と韓国人のビジネス宣教チームが共同経営。

活動報告(2017年11月～4月)と今後の予定

- ・アフリカから届いたオシャレな贈り物のお店 (12.15-17)
- ・同盟基督教団シテリジョイスチャーチでの報告会 (12.17)
- ・名古屋アフリカ大忘年会(市民団体アマアフリカ主催 JICA 中部会場)での司会 (12.9)
- ・南山大学「地域文化研究」での授業 (1.19)
- ・名古屋市イベント「ほっこりマルシェ」出店。(1.27)
- ・バイリンガル会 第一回アフリカビジネストーク (3.17)

【予定】

- ・名古屋市東山動植物園 アフリカンフェスタ出店(4.28,5.4-5)
- ・エチオピアのお話と本格コーヒーの淹れ方セミナー主催 (5.3)
- ・エチオピア訪問 (6.10-9.30)
- ・世界食料デー登別大会にて講演 学校訪問 (10.8～中旬)



教会の報告会



物販イベント



現在の住居のシェアハウス(グレイス・ハウス)入居者とお花見

祈りの課題

- ・エチオピアに向けた準備が祈りと喜びの内に進められて、共に働きを担う方々と学びあいながら良い関係を築き続けられるように。
- ・むすびめワークスの働きの意義や方向性をより深めていけるように。
- ・必要が備えられるように。

ご案内

「むすびめワークス」SNS 配信中



■ ユモトサユリ活動報告ウェブサイト

MUSUBIME-WORKS.NET



■ 「声なき者の友」の輪 (FVI) ウェブサイト (FVI...Friends with the Voiceless International) <http://karashi.net/> 「共に喜ぶ世界」で検索

■ ホームページ制作のご依頼受付中！

ウェブサイト制作事業「むすびめワークス」
MUSUBIME-WORKS.COM

エチオピアでの働きをしながら、ウェブデザイナーとしての仕事も継続しています。ホームページ、チラシやパンフレット製作などにぜひご利用ください。

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

Email : sayuri@karashi.net

支援のための献金方法

「声なき者の友」の輪 Friends with the voiceless International (FVI) の働きのために、お祈り、ご支援をよろしくお願いたします。活動報告は随時、ホームページでご覧いただけます。経済的支援をもってご協力くださる方はお手数ですが以下の口座にお振込みください。ご支援を心より感謝いたします。

ゆうちょ振替口座 口座番号：00180-0-300201

名義：FVI

湯本支援は通信欄に「湯本指定」とご記入ください。

「湯本指定」の支援金は、派遣に関わる経費、活動費、生活費に充てられます。会計報告は FVI の年次報告をもって代えさせていただきます。過去の会計報告は FVI ホームページよりご覧いただけます。